

<テーマ>

AI× 循環器検査の最前線 – 臨床応用の実態とリスクマネジメント–

<ねらい>

近年、AI 技術は循環器検査の診断精度向上と業務効率化において飛躍的な進展を遂げており、心電図解析や心エコーの自動画像診断を中心に臨床現場での実装が加速しています。本セッションでは、これら最先端の AI 技術がどのように現場に取り入れられ、日々の診療にどのようなインパクトをもたらしているのか、具体的な事例を交えて詳しく解説します。また、AI の高度な解析力がもたらす利便性の一方で、過信や誤用による判断ミスリスクも見逃せません。本企画では、そのリスクを的確に評価し、適切に管理するためのリスクマネジメント手法を掘り下げます。臨床検査技師が AI 技術と連携しつつ、安全性と精度を両立させた循環器診療を実現するためのポイントや最新の知見を共有し、今後の臨床現場における AI 活用の方向性を示します。

司会 松林 正人 (三重ハートセンター 臨床検査科)

<講演内容>

1. AI× 心電図 — 自動診断と潜在リスク可視化への活用

演者：松本 悠真 (市立四日市病院 中央検査室)

2. AI による自動計測を心エコー図検査で活かす

演者：花井 甲太郎 (知多半島総合医療センター

医療技術局 臨床検査技術科)

3. AI との付き合い方 ドプラとストレイン計測

演者：鈴木 駿輔 (静岡県立総合病院 検査部)

ディスカッサー：伊藤 知子 (大垣市民病院 生理機能検査室)

油野 岳夫 (金沢大学附属病院 検査部)

塩崎 真弓 (富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部)